

日本船舶海洋工学会の 「ふね遺産」について

参加費無料

講師: 小嶋 良一
こじま りょういち

2022年9月24日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

平成29(2017)年に日本船舶海洋工学会は創立120周年を迎えるにあたり、「ふね遺産」認定制度をスタートさせました。

我々の暮らしに大きく関わってきたにもかかわらず、その性質上、「ふね」は役割を終えると忘れ去られてしまうことが多い状況です。そこで歴史的で学術的・技術的・社会的に価値のある船舟類およびその関連設備等を「ふね遺産」として認定し、社会にひろく周知することをその目的としました。

今年までに42件の「ふね遺産」を認定しましたが、今回は認定実行委員として参画しております講演者からその概要を報告させていただきます。



ふね遺産第19号 明治丸 (東京海洋大学)

◆日本船舶海洋工学会 デジタル造船資料館「ふね遺産」
<https://zousen-shiryokan.jasnaoe.or.jp/funeisan/>



ふね遺産第12号 徳島藩御召鯨船「千山丸」



ふね遺産第16号 粟崎八幡神社の船絵馬



ふね遺産第24号 長崎小菅修船場

■小嶋 良一 (こじま りょういち) 日本海事史学会会員

昭和23年東京生まれ。昭和49年に日立造船(株)に入社。以後各種船舶や海洋構造物の設計に従事。

現在は関西設計(株)顧問、日本船舶海洋工学会ふね遺産認定実行委員会委員長。

大阪市海洋博物館「なにわの海の時空館」(閉館中)の千石積級菱垣廻船「浪華丸」の復元設計を担当。また船の科学館叢書「徳島城博物館阿波藩御召鯨船「千山丸」」や「雛型から見た弁才船(上・下)」(安達裕之著)の調査・計測図作成も担当した。

●関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。

メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

お申込みいただいた方には9月21日(水)までにご連絡いたします。

●会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切: 2022年9月20日(火) 正午(12:00)

■申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」
として、本文にはお名前をお書きください。

◆次回予定: 第404回例会 (Web 例会 #23) 10月22日(土) 14:00 「山高五郎画伯の作品と生涯」飯沼一雄氏(会員) ◆

[今後の例会 開催予定日: 2022年10月22日(土)・11月26日(土)・12月17日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々との交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

